

- 問1 東北地方では、かつて内陸部を南北に貫く幹線道路の整備が中心でしたが、近年は日本海側や太平洋側を結ぶ東西方向の路線や、三陸沿岸などの沿岸路線の整備が急速に進んでいます。このような高速道路網の広がりがもたらす効果として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 主要な都市が東京と直結されることで、地方都市の機能がすべて都心部へ集約され、地域独自の産業が衰退する。

2. 網目状の交通網が形成されることで、都市間の結びつきが強まり、移動時間の短縮や地域交流の活性化が期待される。

3. 道路の維持管理コストを削減するために、利用者の多い一部の幹線道路にのみ交通を集中させ、移動手段を限定する。

4. 南北の移動のみが高速化されることで、沿岸部と内陸部の経済的な格差を広げ、地域間の交流を減少させる。
- 問2 岩手県東部の三陸海岸南部に見られる、海岸線が複雑に入り組んだ「リアス海岸」と呼ばれる地形が、この地域の産業や生活に与えている影響として正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 波が穏やかな深い入り江が多いため、古くからカキやワカメなどの養殖業や、天然の良港を利用した漁業が盛んに行われている。

2. 内陸の盛岡市から奥羽山脈を越えてすぐに海岸へ到達できるため、内陸の工業製品を輸出するための巨大なコンテナターミナルが各地に整備されている。

3. 山地が海に迫り平地が少ないものの、海岸線が直線的で水深が浅いため、大規模な埋め立てによる重化学工業地帯の形成に適している。

4. 平坦な土地が海岸線まで広く続いているため、大規模な機械化農業が行われ、東北地方最大の穀倉地帯となっている。
- 問3 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側沿岸部から内陸部に向かって、オホーツク海から冷たい風が継続して吹き込む気象条件が続いた場合、現地の農業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 暖かい湿った空気が供給されることで、熱帯夜が続き農作物の品質が向上する。

2. 気温が大幅に上昇し、乾燥した風によって農作物の水分が奪われる。

3. 山脈を越えて乾いた風が吹き降りることで、日本海側で干ばつの被害が広がる。

4. 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。
- 問4 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。

2. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。

3. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。

4. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。
- 問5 東北地方の工業の特色を説明した資料において、半導体などの電子部品を製造する工場が、高速道路のインターチェンジ付近や沿線に集中して分布している様子が見られます。このような立地傾向が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから

2. 半導体工場は騒音や振動が激しいため、住民の少ない高速道路沿いや山間部に限定して建設が許可されているから

3. 半導体の製造には大量の輸入資源が必要なため、高速道路を通じて大規模な港湾から直接原料を運ぶ必要があるから

4. 半導体の製造には広大な敷地が必要であり、地価の高い県庁所在地を避けて高速道路沿いの広大な農地を転用したから
- 問6 東北地方では、8月上旬に「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」などの大規模な祭りが集中して開催されます。これらの夏祭りの日程が、8月2日から8日にかけて互いに少しずつ重なり合うように設定されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため

2. 冷害などの気象災害が発生しやすい時期を避け、最も気温が高く晴天が期待できる期間に限定するため

3. 各地域の農作業が一段落する時期が異なるため、古くからの習わしに従って厳密に日程を分けているため

4. 祭りに参加する囃子手や踊り手の不足を補うため、周辺の市町村から互いに応援を出しやすくするため
- 問7 東北地方の伝統的工芸品のうち、岩手県の盛岡市や奥州市を中心に古くから作られており、鉄を主原料とした鑄物の工芸品を何といいますか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 南部鉄器

2. 天童将棋駒

3. 津軽塗

4. 会津塗
- 問8 東北地方の中央部を南北に貫く奥羽山脈が、地域の気候に与えている影響についての説明として最も適切なものを選んでください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側大雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる要因となっている。

2. 夏の冷たく湿った北東風（やませ）を遮ることで、日本海側における冷害の発生を完全に防いでいる。

3. 山脈が風を遮らない構造であるため、冬の太平洋側でも日本海側と同様に連日雪が降り続く。

4. 標高が非常に高いため、山脈の周辺地域は一年中熱帯収束帯の影響を受けやすくなっている。
- 問9 岩手県宮古市などの統計において、1993年や2003年の7月の平均気温が例年よりも著しく低下し、同時期の岩手県全体の米の収穫量が激減した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 冷たく湿った北東風が長期間吹き込み、記録的な冷夏となったため

2. 冬の季節風が強く吹き込み、春先まで積雪が残って作付けが遅れたため

3. 太平洋高気圧の勢力が強まり、連日猛暑が続いて干ばつが発生したため

4. 山を越えて吹き降りる乾燥した高温の風により、水分不足が起きたため
- 問10 宮城県などの東北地方太平洋側において、1993年や2003年のように米の作況指数が大きく落ち込む原因となった、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 季節風

2. フェーン

3. からっ風

4. やませ
- 問11 東北地方の6県を比較した統計において、ある県の果実の農業産出額は約833億円に達し、他の5県の132～147億円という数値に比べて突出して高い規模となっています。この県名と、その産出額の多くを占める果実の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 長野県（りんご）

2. 福島県（もも）

3. 青森県（りんご）

4. 山形県（さくらんぼ）
- 問12 日本各地で外国人観光客の誘致（インバウンド）が進む中、秋田県において東アジア地域からの宿泊客が全体の7割を超えるほど高い割合を占めている要因として、地理的な視点から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本との物理的な距離が近く、航空路線の整備などにより移動の負担が比較的小さいため

2. 時差が10時間以上ある遠方から、長期滞在を目的とした休暇利用者が多く訪れるため

3. 赤道に近い低緯度地域に位置しており、熱帯気候の人々が冬の雪を求めて移動しやすいため

4. 公用語として日本語を採用している国が多く、言葉の壁による心理的な障壁が低いため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 網目状の交通網が形成されることで、都市間の結びつきが強まり、移動時間の短縮や地域交流の活性化が期待される。	東北地方では、東北自動車道などの南北の幹線に加え、秋田自動車道や釜石自動車道といった東西を結ぶ横断路線、さらに三陸沿岸道路などの路線の整備が進みました。これにより、地域全体が網目状に結ばれることになり、内陸と沿岸、あるいは都市間の移動時間が大幅に短縮されました。これは物流の効率化や観光振興、災害時の緊急輸送路の確保など、多方面で地域活性化に寄与しています。
問2	答え 1 波が穏やかな深い入り江が多いため、古くからカキやワカメなどの養殖業や、天然の良港を利用した漁業が盛んに行われている。	リアス海岸は、山地が沈み込んで形成されたため、水深が深く波が静かな入り江が多く存在します。この地形的利点を活かして、岩手県沿岸部では古くから漁業や養殖業が発展してきました。一方で、平地が少ないために大規模な都市や工場の建設には制約があり、内陸部と沿岸部を結ぶ交通網の整備には北上山地を越える必要があるという地理的背景があります。
問3	答え 4 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。	北東から吹き込む「やませ」は冷たく湿った性質を持っているため、この風が長期間吹き続けると太平洋側を中心に気温が上がらず、霧が発生して日照時間が減少します。特に稲の開花や結実の時期に重なると、収穫量が激減する「冷害」の原因となります。このため、東北地方では冷害に強い品種（ササニシキからひとめぼれ等への転換など）の改良が盛んに行われてきました。
問4	答え 3 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。
問5	答え 1 半導体は小型・軽量で付加価値が高いため、トラックを利用した高速道路による迅速な輸送に適しているから	半導体は「産業のコメ」とも呼ばれ、製品が小さく軽い一方で非常に価格が高い（付加価値が高い）という特徴があります。そのため、船や鉄道による大量輸送よりも、高速道路を利用したトラック輸送によって、必要な時に迅速に製品を運ぶことが重視されます。東北地方では東北自動車道などの高速道路網の整備に伴い、内陸部のインターチェンジ付近への工場進出が相次ぎました。
問6	答え 1 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため	東北地方の主要な夏祭りは、近接する各県が連携して開催期間を調整しています。例えば、青森では2日から7日、秋田では3日から6日、仙台では6日から8日といった具合に日程が設定されています。このように意図的に期間を連動させることで、観光客が1回の旅行で複数の祭りを訪れる「周遊観光」を促し、宿泊客の増加や滞在時間の延長といった経済効果を地域全体にもたす工夫がなされています。
問7	答え 1 南部鉄器	岩手県の盛岡市や奥州市で江戸時代から受け継がれてきた鉄鋳物の工芸品です。厚みのある鉄が熱を均一に伝え、保温性に優れているという特徴があります。他の選択肢について、津軽塗は青森県、会津塗は福島県、天童将棋駒は山形県の伝統的工芸品です。
問8	答え 1 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側に大雪をもたらす、太平洋側を乾燥させる要因となっている。	奥羽山脈は気候を分ける壁の役割を果たしています。冬には日本海からの湿った季節風が山脈にぶつかるため、日本海側で多くの雪が降ります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は乾燥しているため、太平洋側では晴天が多くなります。また、夏に吹く「やませ」については、主に太平洋側に冷害をもたらす要因となります。
問9	答え 1 冷たく湿った北東風が長期間吹き込み、記録的な冷夏となったため	1993年や2003年は、オホーツク海高気圧から吹く「やませ」が強まったことで、東北地方の太平洋側を中心に深刻な冷害が発生しました。低温と日照不足が重なったことで、米の収穫量が平年の半分以上になるなどの大きな被害が出た背景があります。
問10	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧が勢力を強めると、そこから冷たく湿った北東風が東北地方の太平洋側に流れ込みます。これが「やませ」です。夏にもかかわらず気温が上がらず、日照時間も不足するため、稲の生育が著しく妨げられる冷害の原因となります。1993年は「平成の米騒動」と呼ばれるほどの記録的な冷害が発生しました。
問11	答え 3 青森県（りんご）	東北地方において、果実の産出額が他の県を圧倒して高いのは青森県です。青森県はりんごの生産量が日本一であり、全国の約半数のシェアを誇ります。選択肢にある山形県（さくらんぼ）や福島県（もも）も全国的な産地ですが、産出総額において青森県のりんごは非常に大きな規模を持っています。なお、長野県もりんごの産地として有名ですが、東北地方ではなく中部地方に属するため、統計の対象から外れます。
問12	答え 1 日本との物理的な距離が近く、航空路線の整備などにより移動の負担が比較的小さいため	観光客の移動（流動）には、出発地と目的地の間の「距離」が大きな影響を与えます。韓国、台湾、中国などの東アジア地域は日本との距離が近く、移動時間や交通コストが抑えられるため、多くの観光客が訪れる要因となります。秋田県においても、これら近隣諸国からのアクセス利便性が、宿泊者数の高いシェアに繋がっています。